

## 第5章 地球環境保全に資する環境に優しい社会の創造

資源及びエネルギーの循環的な利用が徹底され消費が抑制される社会、環境の保全に関する蓄積された技術が地球的規模で活用される社会の創造に向けて、各種の施策を相互に有機的に連携しながら展開することとして、以下の施策を講じた。

### 第1節 地球環境保全に資する取組の推進

#### 第1 協働による行動の推進

##### ①地球環境保全行動指針の推進

###### ■地球環境保全行動指針の普及・啓発

平成7年6月、豊かな環境づくり大阪府民会議において、府民・事業者・行政がそれぞれの役割に応じて地球環境保全に資するよう行動するための「地球環境保全行動指針」を策定し、その普及啓発を進めた。

##### ②行動規範づくり

###### ■環境教育の推進

府民の地球環境に対する理解と認識を深め、自発的な取組を促進するために、青少年指導者向けの「環境学習ハンドブック」の作成や地域の環境保全活動のリーダー的役割を果たす人材を養成する「環境ゼミナール」等を開催した。

##### ③拠点施設づくり

###### ■環境情報コーナーの活用

環境に関する図書、資料、ビデオなど環境情報を収集整理して、広く府民に提供・公開するとともに、環境影響評価に関する相談や評価書等の閲覧に応じるため、昭和59年6月から「大阪府環境情報コーナー」を設置している。平成7年度においても環境情報の充実に努め、蔵書数は環境局が発行・収受したものを含め8,277冊、環境ビデオライブラリーは寄贈を受けたものを含め206本となっている（7年度末）。

###### ■環境コーナーの設置促進

府民が環境にやさしい行動を起こすきっかけとなる場として「環境コーナー」の整備を図るため、平成8年3月に大阪市西区内及び八尾市内の2か所において、コーナーを試験的に設置し、調査検討を行った。



<環境コーナー>

#### ④ネットワークづくり

##### ■豊かな環境づくり大阪府民会議

豊かな環境の保全と創造に関する施策を積極的に推進するため、平成7年6月に「地球環境保全行動指針」を策定するとともに、構成員間の情報交流を図り、環境問題についての府民の理解と協力を促すため、情報誌「かんきょう夢ひろば」を創刊した。

##### ■地球環境関西フォーラムへの参画

地球環境問題の克服に寄与することを目的として、関西の企業、自治体、消費者団体、学識経験者等で組織する「地球環境関西フォーラム」（平成6年9月設立）の実践的な取組や調査・研究に参画した。

##### ■大阪府廃棄物減量化・リサイクル推進会議

ごみの減量化やリサイクルに関する調査研究や啓発事業を実施した。

##### ■大阪府省資源運動推進会議

省資源推進会議を開催し、構成団体相互間の情報交換、連絡調整を行った。

##### ■国際環境シンポジウムの開催

大阪市、(財)地球環境センター、UNEP国際環境技術センターとの共催で、地球環境の保全に向け、私達一人ひとりが地球市民として認識を深めることを目的とした「持続可能な発展のための市民の貢献を考える国際シンポジウム」を平成8年3月にドーンセンター（大阪府立女性総合センター）で開催した。

## 第2 地球環境問題への取組

### ①地球温暖化防止対策の推進

#### ■「大阪府地球温暖化対策地域推進計画」の推進

「大阪府地球温暖化対策地域推進計画」に掲げる諸施策の普及啓発を図るとともに、地域特性に応じた廃熱の有効活用システムの導入促進策について検討を行った。

また、温室効果ガスである亜酸化窒素、メタン、二酸化炭素の固定発生源からの排出量を推計するため、発生源毎の排出実態について調査を行った。

#### ■温室効果ガス等モニタリング調査等の実施

府域における温室効果気体等の環境濃度及びそのメカニズムについて検討するため、フロン-113等の有機塩素化合物についてモニタリングを実施した。

#### ■省エネルギー計画書の提出指導

事務所、物販店舗、ホテル又は旅館、病院又は診療所、学校の用途に供する床面積の合計が、2,000㎡以上のものについて、建築の確認申請時に「省エネルギー計画書」の提出を指導し、建築物の熱損失の評価及び空気調和設備、その他の機械換気設備、照明設備、給湯設備、昇降機のエネルギーの効率的利用に対する措置を求めた。平成7年度は、22件の提出があった。

### ②オゾン層保護対策の推進

#### ■フロンの回収の促進

フロンの回収を促進するため、「大阪府フロン回収検討協議会」を通じ市町村、関係業界にフロン回収を働きかけるとともに、フロン回収を実施していない府下市町村の回収事業を支援するために、フロン回

収機、ポンペを貸与する体制を整備した。

#### ■大阪府フロン対策協議会の設置・運営

「大阪府フロン回収検討協議会」（平成6年度設置）を運営し、フロンの回収等に向けて基礎的な条件や問題点を検討してきたが、フロン対策をより一層推進するため平成8年3月に「大阪府フロン回収検討協議会」を「大阪府フロン対策協議会」に改組した。

#### ■フロン破壊処理技術の普及促進

フロン破壊処理試験が実施されている施設〔燃焼法（横浜市）、高周波プラズマ法（市川市）〕に回収フロンを搬送し、破壊処理調査を実施するとともに、低温接触フロン分解装置について、現場破壊処理を目的とした車載型装置の実用化に向けて技術開発を支援した。

#### ■府有建築物の環境整備

府有建築物で特定フロンを使用している空調用冷凍機について、建て替え等の整備計画との整合を図りながら、順次特定フロンを使用しない機器への取替を行っている。

平成7年度は、身体障害者福祉センターなど2施設において事業を実施した。

### ③酸性雨対策の推進

#### ■酸性雨のメカニズムの研究

広域実態調査、生駒山等における大気環境解析調査等、関係機関と連携し酸性雨・酸性霧についての総合的な調査を行った。

また、酸性雨によるコンクリート構造物の浸食の影響評価を下すために、酸性ガス等の乾性沈着により可溶化、雨水等による溶脱の機構を検討した。

#### ■酸性雨対策の実施

酸性雨の原因物質である窒素酸化物、硫黄酸化物の排出を抑制するため、大防法等に基づく工場・事業場の規制・指導等を行った。

### ④森林、特に熱帯林の保全

#### ■森林、特に熱帯林の保全対策

地球環境保全の観点から、府域の森林についての保全を図った。また、国際協力を推進するため、熱帯地域を中心とした保全・再生について、これまで長年にわたり培われてきた治山、森林造成・緑化などに関する技術を活かせるよう検討するとともに、熱帯林の保全対策に必要な調査・研究を行った。

#### ■熱帯産木材の使用抑制

府有施設の建築工事において、熱帯林の保全を図るため、「熱帯木材の使用抑制に関する基本方針」に基づき、針葉樹複合板型枠の使用や型枠を使用しない工法を取り入れ、熱帯産木材の使用抑制に努めた。

## 第3 開発途上国等に対する環境協力の推進

### ①国際機関への支援

#### ■UNEP（国連環境計画）国際環境技術センターへの支援

開発途上国等の環境問題を解決するために設置されたUNEP（国連環境計画）国際環境技術センター（大阪）を支援し、地球環境問題に取り組むため、（財）地球環境センターに対して職員の派遣を行った。

#### ■国際エメックスセンターへの支援

閉鎖性海域の環境保全と適正利用並びに国際協力の推進に資するため設立された国際エメックスセンター（平成6年11月設立）を支援するため助成するとともに、積極的に参画した。

#### ②国際技術協力の推進

##### ■海外友好提携都市との交流・協力

府がこれまで蓄積してきた環境保全対策の経験や技術を提供することにより、開発途上国等における環境問題の解決を図るため、友好交流関係にあるインドネシア・東ジャワ州から研修生を1名12日間受け入れ、大気保全に関する研修を実施した。

また、中国・上海市から水質保全専門家及び研修生を受入れるとともに、平成4年度からの共同研究「川楊河の水質保全計画」をとりまとめた。



<研修風景の写真（インドネシア・東ジャワ州研修生）>

#### ③国際的な情報ネットワークへの参加

##### ■環境保全技術のデータベース化

アジア・太平洋地域で関心が高まりつつある環境保全技術の情報交流とネットワークの構築に向けて、大阪から発信する情報の内容等に関する検討を行った。

### 第4 地球環境に関する調査研究の推進

#### ①調査研究体制の整備

##### ■地球環境問題に関する研究体制の整備

地球環境問題に関する情報収集及び課題対応について検討するため、4人の有識者を招き、「フロン等の規制と代替品・代替技術の開発状況」、「地方自治体における国際環境技術移転のあり方」、「持続的発展を可能とするエネルギー・環境技術の開発」、「最近の異常気象と地球環境」のテーマで研究会を開催した。

##### ■地球環境問題研究調整会議の運営

府立の大学や研究機関等で構成する「地球環境問題研究調整会議」を通じて、機関相互の連携体制の強化を図り、地球環境問題に係る試験研究・技術開発を進めるため、技術情報の交換を行った。

②調査研究機関等との連携

■(財)地球環境産業技術研究機構との連携

地球環境問題の解決を図る技術開発のため、(財)地球環境産業技術研究機構に対して職員の派遣を行った。